

統合小学校の建築工事に着手

令和7年度

施政要旨

厚生労働省が2月に公表した人口動態統計の速報値によれば、令和6年の外国人を含めた出生数は、前年比5・0%減の72万9888人であり、9年連続で最少を更新しました。

当町においても、令和6年度の出生見込み数は11人であり、子育て支援の拡充、少子化対策に尽力してまいります。また、最上川が縦貫している当町では、地震同様、水害に対する備えも大変重要であります。昨年の7月に山形県北部を中心に記録的な大雨により、最上地域などでは甚大な被害が発生しました。異常気象が続く昨今、いつ令和2年のような水害が発生してもおかしくない状況にあります。現在「最上川中流・上流緊急治水対策プロジェクト」を進めており、当町においては堤防整備等が計画されております。安心して暮らせるまちづくりのために、町民の皆様のご理解とご協力を賜りながら、国と連携して事業に取り組んでまいります。

はじめに

によるキャッシュレス決済の拡充を図り、口座振替、コンビニ収納と併せ納税環境の向上に努め、さらにはスマートフォンを利用した申告の推進等、行政のデジタル化に取り組んでまいります。

地域活性化事業

○最上川中流・上流緊急治水対策プロジェクトの移転者支援の一環として「定住促進事業助成金」の対象を移転対象者にも拡大し、町内への定住を促進します。

○NPO法人有償除雪ボランティアを活用し、安全で的確な除雪支援体制を構築していきます。また、小型除雪機購入補助制度も引き続き実施していきます。

○空き家の利活用を進めるため新たな地域おこし協力隊員の採用を進めていきます。

デジタル化推進事業

○1月27日に「2040変革推進宣言」を行い、国の「自治体DX推進計画」に基づき、今後も地方自治体が重点的に取り組むべき事項を具体化し、行政サービスの維持が難しくなる「2040年問題」を見据えた取り組みを進めてまいります。

保健・福祉関係事業

○子育て支援では、令和7年3月末に「第3期大石田町子ども・子育て支援事業計画」を策定し、子育て支援の取り組みを効果的に推進します。

各分野の施策概要

納税対策事業

○令和5年度から始動した地方税共通納税システム、その他スマホ収納等

管理に努めてまいります。

○道路除雪は、自助、共助、公助の方針に基づき、町民、地域、町の三者が、歩調を合わせ課題解決に取り組んでまいります。

○鷹巣地内の流雪溝整備を、引き続き実施してまいります。未整備地区については、国、県への働きかけを継続してまいります。

最上川緊急治水対策事業

○町では、移転を余儀なくされた方々を支援するため、代替地登録制度や宅地整備に取り組んできましたが、令和7年度には宅地整備を追加して行います。また、事業に関わる周辺地域の活性化を図るため、「かわまちづくり事業」の具体的な計画策定に向けた取り組みを進めていきます。

住宅インフラ事業

○町営住宅については、令和6年度に見直した「公営住宅長寿命化計画」に基づき、計画的な改修を行い、住環境の確保に努めてまいります。

安全安心のまちづくり事業

○災害時のタイムラインの見直しや資機材の運用訓練を実施し、防災・減災を推進してまいります。

○準中型免許取得支援や機能別消防団の確保を行い、若年層の加入促進と組織の強化を図ります。

○関係機関と連携し、交通事故防止のための啓発活動を強化します。また、

○保健事業では、令和7年3月末に「第3次大石田町健康増進計画 健康おおいしだ21」を策定し、「健康寿命の延伸」に重点を置いた取り組みを推進します。

○国民健康保険については、「医療費抑制対策」として、疾病予防の強化やかかりつけ医の定着、疾病の早期発見に取り組めます。

○介護保険事業については、「第9期大石田町高齢者福祉計画及び介護保険事業計画」に基づき、「高齢者が住み慣れた地域で生き生きと暮らせるまちづくり」を基本理念に掲げ、総合的な高齢者施策を展開します。

農林業振興事業

○少子高齢化や担い手不足、農業資材や肥料の価格高騰によって農業経営は厳しい状況です。国や県の動向を注視しながら対策を講じます。

○令和5年度には、町内でも熊による人的被害が発生しています。町民の安全と農作物を守るため、「狩猟者確保対策事業補助金」を拡充し、対策に取り組めます。

○森林は重要な資源であり、令和7年度からは森林環境譲与税を財源とした森林整備事業を進めていきます。

商工業振興事業

○町内商工業事業者の経営基盤強化を図るため、町商工会と連携を図りながら商工業の活性化を推進してまいります。

観光物産振興事業

○地域経済の活性化や雇用機会の創出を図るため、各種補助金等の拡充を行い、新たな分野にチャレンジする中小企業者等を支援してまいります。

○17年目となるプレミアム商品券発行事業を支援します。また、「おおいしだエール券発行事業」は令和6年度補正予算で対応し、令和7年3月から使用できるように前倒ししています。

○「そはの里」として「新そはまつり」をはじめとするイベントを開催し、「大石田そば街道振興会」や関係機関と連携して観光振興と地域活性化を推進してまいります。

○「大石田まつり最上川花火大会」は、新町発足70周年記念事業として趣向を凝らし開催してまいります。

生活環境保全事業

○町衛生組織連合会と連携し、資源回収に取り組み、SDGsの実現に向けた取り組みも継続してまいります。また、「クリーンアップおおいしだ」の活動も引き続き推進してまいります。

○猫避妊手術や去勢手術費用の一部を補助する新たな制度を設け、生活環境の向上に努めてまいります。

建設関係事業

○安全な通行確保のため、社会資本整備総合交付金などを活用し、歩道や街路樹も含め、計画的に整備、維持